乳がん検診の注意事項

※自覚症状がある方は集団検診に適しません。必ず医療機関で受診してください。

※次の方は、受診の可否をご確認ください。

種別	対象者	受診の可否	理由
乳	妊娠中・妊娠の疑いがある方	**受診しないでください**	もしも受診されるときは、検診ではなく専門医にご相談ください。
	豊胸手術を受けた方		内容物が圧迫により、破裂する恐れがあります。また、内容物が障害陰影となり、写真による判定は困難です。
	ペースメーカーを挿入している方		圧迫により、ペースメーカーが破損する恐れがあります。
	脳圧亢進でVPシャント中の方		前胸部胸壁のシャントチューブは、破損などの危険があります。（LPシャント・VAシャント処置を受けた方は、受診可能です）
	ポート（薬剤注入器具）が前胸部に入っている方		チューブなどの位置がずれ、不測の事態が起こる可能性があります。
	マンモグラフィと視触診を受診したい方		医療機関にご相談ください。
	乳腺疾患で治療中の方		圧迫をするので、傷口が広がったり、痛みが強まったりします。治療中の判定は要精検となる場合があります。
	精検後、部分切除された方	**受診は可能です**	切除の痕が、写真上、乳腺の乱れとして写ることがよくあります。病変なのか切除のためなのか判別しがたいので、しばしば要精検になります。
	授乳中の方		出産後１年経過、かつ乳首をくわえさせている程度であれば受診可能です。授乳終了後、６か月以上あけて受診することをお勧めします。